

# つながり



TEL 0748-22-3030 FAX 0748-23-3383

発行日 2016.4.30

Vol.22



編集：広報委員会



## 院長新年度あいさつ



院長 井上 修平

### 東近江総合医療センターとなって3年が経過しました！

2013年(平成25年)4月1日に東近江総合医療センターと名称が変わり早いもので3年が経過しました。当院の合い言葉を「ホップ、ステップ、ジャンプ」と命名し現在はステップからまさにジャンプの段階まで至っています。この間も着実に入院患者数、外来患者数の増加が得られ、中核病院としての使命を果たせるようになってきたと思います。しかし昨年度(2015年度)の平均入院患者数目標 256人/日(稼働率 80%)は善戦したものの2016.3.10までの実績では 253.7人/日(稼働率 79.3%)であり、昨年度の収支状況は経常収支差で3億6千万円(1日100万円)ぐらいの赤字(経常収支率 93.6%)になる見込みです。しかし今後も経営改善に努めながらも以前からのミッションである「診療」、「臨床研究」、「教育研修」の法的責務を今後とも実施していき320床の中核病院としての重責を担っていきます。

平成28年度の当院の病院目標を示します。

【滋賀病院から東近江総合医療センターへと生まれ変わって約3年が経過しようとしている。この3年間の歩みを振り返ってみると、診療機能や医療の質は確実に向上し、職員個々の知識や技術面においても明確に成長の跡がうかがえる。そのようなソフト面の成長は認めつつも、いまだ当院の経営面は心許ない状況であることは厳然とした事実であり、今後早急に経営面を確かなものにしない限り、外来管理治療棟の建替整備はもとより、当院の更なる成長は望めない。また、医療(病院)という公共性・公益性の高い事業においては、「三方よし(相手よし、自分よし、社会よし)」の精神に加え、「未来よし」の視点がなければその役割を果たせず、当院が持続可能な病院運営を実現しない限り、地域住民や東近江市を含む各行政機関、各診療所の先生方並びに滋賀医科大学からの更なる信頼の獲得と期待には応えられない。以上のことから、平成28年度は「再投資(人・技術(技能)・設備への投資)に向けた病院経営の黒字化」、「更なる医療の質の向上」並びに「職員個々の更なるスキルアップと技術(技能)の取得」を目標として掲げ、実践・行動することとする。】

病院の常勤職員の確保も看護師(10:1看護がぎりぎり)以外は順調に出来ています。平成22年度は常勤医師数は最低の12名でしたが、この平成28年度のスタートは44名の見込みとなっており、麻酔科の常勤医が2名体制になり、増加している手術や緊急対応が可能となります。他職種も平成23年度に比べて平成28年度は、看護師(96→175)、薬剤師(5→14)、診療放射線技師(5→11)、臨床検査技師(8→12)、管理栄養士(2→3)、理学療法士(1→4)、その他コメディカル(3→5)と着実に増加し活躍しています。

平成 28 年度は将来の地域医療構想への対応が出来るように「地域医療連携室」の強化を行います。そのために地域医療連携係長に看護師長を配置し、欠員となっていた MSW(社会福祉士)も採用しました。その他、現行の常勤看護師 2 名と非常勤事務助手を 2 名から 3 名に増員した 7 名体制でのスタートとなりますので、これまで以上に迅速に対応が出来ると思っています。

現在、非常勤医師に頼っている診療機能は放射線治療医、病理診断医、血液内科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、精神科となっていますが、これも相変わらず今後の課題となっています。まだまだ医師をはじめスタッフ不足は解消されていませんが、一歩ずつ着実に前進して真の中核病院としての機能を果たせるよう、また地域の皆さんに信頼され、そして職員にもやりがいのある病院作りをしていきたいと思っております。どうぞ今年度もご支援の程、宜しく願いいたします。

## 4月より赴任しました



手術部長  
早藤 昌樹  
(はやふじ まさき)

平成 28 年 4 月 1 日付けで東近江総合医療センターに手術部長(麻酔科医)として着任いたしました。昭和 61 年に信州大学を卒業し京都府立医科大学第 3 内科で医師としての研修を開始しました。内科医として 9 年間過ごしたのち、母校・信州大学にて麻酔科医のトレーニングを始めました。その後、父の死を契機に故郷滋賀県に舞い戻りました。私が初めて麻酔器のバッグを握ったのは蒲生町病院でした。外科の鈴木先生が子供の虫垂炎の手術をしておられ、当時内科医だった私がレスピレーター代わりにバッグを握った時です。信楽高原鉄道の事故のニュースを見たのは能登川の医局だったことを覚えています。「因縁」まさしく「つながり」を感じております。改めてよろしく願いいたします。



呼吸器内科医長  
和田 広  
(わだ ひろし)

このたび、呼吸器内科として赴任しました和田広と申します。私は平成 26 年 3 月まで当院で 2 年間ほど勤務しておりましたが、その後は滋賀医科大学に戻り、再び東近江総合医療センターに戻ってくることとなりました。東近江地区は呼吸器内科医が少ないこともあり、結核だけではなく、閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、感染症など幅広い疾患に対して、対応していきたいと考えております。以前とは違って常勤医が 2 人の体制となっておりますので、可能な限り地域のニーズにこたえられるように頑張っていきたいと思っております。



外科医長  
太田 裕之  
(おおた ひろゆき)

滋賀医大を 1998 年に卒業し、関連病院および滋賀医大病院での勤務を経て 2016 年 4 月より赴任した太田裕之と申します。大学では大腸骨盤外科とくに大腸癌の治療を専門としておりました。今後は地域密着型のニーズに即した消化器・乳腺一般外科診療に取り組んでいきたいと考えております。近隣の医療機関の皆様と連携を図り、患者さんのライフステージに応じた切れ目のない医療の提供を心がけて参ります。今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



**総合内科医師**  
**陌間 大輔**  
(はざま だいすけ)

平成 28 年 4 月より東近江総合医療センター総合内科に赴任いたしました陌間大輔と申します。自治医科大学を卒業後、滋賀医科大学にて 2 年間の初期研修を終え、昨年度は蒲生医療センターにて内科外来、在宅医療を担当しておりました。家庭医療・総合診療を専門としております。医師 4 年目で、まだまだ若輩者でございますが、地域の皆様の健康に貢献すべく尽力いたしますので、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



糖尿病・内分泌内科医師  
**中泉 伸彦**  
(なかいずみ のぶひこ)

医師 5 年目の中泉伸彦と申します。滋賀医科大学を卒業後、滋賀医大付属病院で 2 年間の研修の後、同病院で 2 年間糖尿病・内分泌内科医として勤務しておりました。大学病院では主に糖尿病の診療並びに、内分泌疾患の診療に従事しておりました。この地域で診療するにあたり、開業医の先生方、各医療機関の先生方に御指導・御高配を賜わりながら、地域に根ざした診療ができればと考えております。宜しくお願い申し上げます。



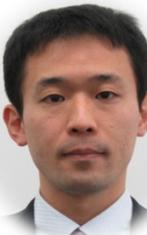
**消化器内科医師**  
**神田 暁博**  
(かんだ としひろ)

平成 28 年 4 月より東近江総合医療センター消化器内科に赴任して参りました神田暁博と申します。滋賀医科大学を平成 18 年に卒業し、卒後 11 年目に当院へ赴任して参りました。消化器内科では内視鏡検査・治療及び化学療法などを行っております。わかりやすい説明を心掛け、よりよい医療を常に提供できるよう努めていきたいと思っております。当院では日中・夜間含め、緊急内視鏡への対応も行っており、地域の医療機関とも密接に連携していきたいと思っております。今後、東近江地域の医療に貢献できるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。



**産婦人科医師**  
**中村 暁子**  
(なかむら あきこ)

今年度より東近江総合医療センター産婦人科に赴任しました中村暁子と申します。滋賀医科大学を卒業後、昨年度までは同大学病院で勤務しておりました。新しい環境で、日々新鮮な気持ちで勉強させていただいております。今後ともどうぞよろしく宜しくお願い申し上げます。



**小児科医師**  
**田中 克典**  
(たなか かつのり)

2016 年 4 月より東近江総合医療センター小児科医師として赴任させていただくことになりました田中克典と申します。滋賀医科大学卒業後 8 年目となります。2 年間の初期研修を滋賀医科大学附属病院で修了し、同大学小児科学講座へ入局しました。同大学附属病院小児科で 3 年間、長浜赤十字病院で 2 年間の研修を経て現在に至ります。東近江地域医療に貢献できるよう、日々研鑽して参りますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

外来担当医表 平成28年4月1日～

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考	
神経内科 (診察室①)		前田 憲吾	杉原 芳子	前田 憲吾	杉原 芳子	前田 憲吾		
総合内科 (診察室②)		辻川 知之	杉本 俊郎	前野 恭宏	大西 正人	陌間 大輔 杉本 俊郎	●原爆健診 月・水・木・金(13:30～15:00)【予約制】 ●金曜日 杉本医師は診察室⑤にて診療	
消化器内科 (診察室③)		水田 寛郎	伊藤 明彦	辻川 知之	神田 暁博	岡山 千尋	●胃カメラ 月～金 ●大腸ファイバー月～金 ※午後	
呼吸器内科 (診察室⑦)		坂下 拓人 (新患のみ)	和田 広	長尾 大志	坂下 拓人	和田 広		
血液内科 (診察室⑤)		—	—	—	藤城 綾 (午後)	—	●血液内科は完全予約制	
循環器内科 (診察室⑥)		酒井 宏	田中 妥典	大西 正人	田中 妥典	大西 正人	●循環器内科、月曜の診察受付時間 8:30～11:00 ●心臓ペースメーカー外来(火曜 午後 月1回不定期開催) ●学校心臓健診(高校生対象) ※完全予約制	
糖尿病/内分泌 (診察室⑧)		前野 恭宏	中泉 伸彦	山本 有香子	杉本 俊郎 (腎臓内科 リウマチ外来)	前野 恭宏		
小児科	午前	1診	大林 聡子	田中 克典	大林 聡子	柳 貴英	田中 克典	
		2診	田中 政幸	田中 政幸	田中 政幸	田中 克典 (完全予約)	田中 政幸	
	午後	一般外来	担当医	担当医	担当医	—	担当医	当日11:30から予約受付
		専門外来	田中 政幸	大林 聡子	田中 政幸	田中 克典	田中 政幸	予約制
		1か月健診 予防接種		大林/田中克		担当医		予約制
外科 1診	瀬戸山 博	目片 英治	小島 正継	長谷川 正人	太田 裕之	●人工肛門(第1・3火、午後)		
外科 2診	—	長谷川 正人	瀬戸山 博	—	新田 信人			
乳腺外来	—	—	—	富田 香 (予約制)	—	完全予約制		
整形外科	菊地 克久 中村 陽	米田 真悟	森 幹士 菊地 克久	菊地 克久	米田 真悟	※水曜日受付は11時まで		
脳神経外科	—	井上 卓郎	—	—	平井 久雄	当院では手術・入院治療は行っていないため、他の医療機関を紹介させて頂く場合があります。		
呼吸器外科 1診	大内 政嗣	井上 修平 (初診優先)	上田 桂子	井上 修平 (初診優先)	上田 桂子	●気管支鏡(月～金 午後)		
呼吸器外科 2診	尾崎 良智	片岡 瑛子	尾崎 良智	片岡 瑛子	大内 政嗣			
心臓血管外科				近藤 康生				
皮膚科	鞆飼 佳子	鞆飼 佳子 [第2,3,4週 中西 健史]	鞆飼 佳子 [第1週 藤本 徳毅]	鞆飼 佳子	鞆飼 佳子 (予約制)	金曜日は予約再診のみ		
泌尿器科	坂野 祐司	前澤 卓也	(交代)	坂野 祐司	前澤 卓也	水曜日第1・3・5週 坂野医師 第2・4週 前澤医師		
産婦人科 1診	郭 翔志	井上 貴至	中村 暁子	辻 祥子	郭 翔志	初診・予約外再診は1診にて9時から診療 ※2診は予約制		
産婦人科 2診	辻 祥子	中村 暁子	郭 翔志	井上 貴至	井上 貴至	※子宮頸がんワクチン予防接種 (火曜 16:00～16:30 完全予約制)		
眼科	中島 智子	中島 智子	東山 智明	中島 智子	中島 智子	※月曜日・水曜日 外来受付は11時まで		
耳鼻いんこう科	松原 由歩	松原 由歩	松原 由歩	(交代)	松原 由歩	木曜日は滋賀医大より交代医師		
放射線科	居出 健司	居出 健司	居出 健司	居出 健司	居出 健司	●放射線治療(月～金、午前・午後) ●胃透視・注腸検査(木)午前 ●R1(月・木) ●血管造影(火・午後)		
歯科口腔 外科	初診 再診	堤 泰彦 浅田 泰幸	浅田 泰幸 堤 泰彦	(交代) (交代)	堤 泰彦 浅田 泰幸	浅田 泰幸 堤 泰彦		

(初診) 午前8時30分～午前11時30分  
(受付機) 午前7時30分～午前11時30分  
(ただし、上表の備考欄に記載の診療科を除く)

独立行政法人 国立病院機構 東近江総合医療センター

TEL 0748(22)3030

編集後記



新年度になり、病院のスタッフも交代がありました。私が当院に来て8年目になります。当時70人ほどしかいなかった入院患者さんも300人近くまで増えました。地域の方々や病院・診療所の先生方の信頼を裏切らないようスタッフ一同今年度も励みたいと存じます。  
(広報委員会 前田憲吾)